

レクチャー４ 「万物の相互関係」 ５７Ｐ～７２Ｐ

要旨

宇宙の意識・・・宇宙全体を意識体と見る。
↓
(英知、生命エネルギー)

宇宙の意志

- ◎われわれは表現または“現われ方”を基礎として知能の段階を分類しているのではないでしょう。⇒地球上の杓子定規
- ◎あらゆる人間を平等に進化させようとする基本的な力、英知はだれにでもある。自分の体の中にも宇宙の英知はみなぎっている。
- ◎みんな純粋なものを望んでいる。それは、完璧な設計図が体の中にあるから。⇒アイデア論
- ◎宇宙の創造主が与えてくれた設計図。創造主に近づくようにすれば、完璧な設計図を表面に現わすようになる。
- ◎生命とは何か、人体とは何か、われわれは内部の宇宙の英知、意識、生命エネルギーに目を向けて、それが体からどんどん現われてくるフィーリングを起こす。
- ◎「気」とは宇宙に満ちる生命エネルギー。
- ◎分子・原子からは記憶の波動が出ている。
- ◎真の宇宙的自我＝宇宙の意識
- ◎DNAは記憶を持ち波動を放つ。創造主のエネルギーと英知の固まり。
- ◎子供達の透視は文字を透視するのではなく、波動を透視する。われわれは波動を重視しなければ、創造主という究極の存在を認めることができなくなる。すべては波動である。
- ◎人体から素晴らしい知識が波動となって放射されている。それをマインドに向けると内部の正しい印象を知ることができる。
- ◎DNAの半分は女性、半分は男性。陰と陽。この二つの部分は普遍の関係があってRNAと呼ばれる使者を生み出す。
- ◎他人を見たら自分自身のように見なさい。観察される固体があたかも自分であるかのようにその固体について意識的になるのです。
- ◎万物一体感を観念的に頭で考えるのではなく、自分が相手の体の中に入り込んだ一体感。花の中に入り込んだ一体感。

質問

◆われわれが表現または“現われ方”を基礎として知能の段階を分類していることを考えてみましょう。(62 P)

◆あなたのサイコメトリー体験をお教え下さい。(64 P)

◆心が調和的な穏やかな状態を保とうとすれば、人体内で起こる物事のすべてを知ることが心の義務であり、特権であるのです。あなたは、心を調和的に穏やかにしていますか。
(68 P)

◆異星人は観察される個体があたかも自分であるかのように個体について意識的に成ります。あなたにこのような体験談がありましたら述べて下さい。(69 P)

◆人間が一定の基準としなければならないような模範は存在しません。全く等しい二人の人間は存在しないからです。したがって本講座は他の修養団体のごとく一定の信条を設けたりしません。あなたはどう思いますか？ (69 P)

◆あなたはある人を深く愛しながら、しかもその人を傷つけることがあるでしょう。あなた自身でこのような体験を振り返って下さい。(70 P)

レクチャー5 「意識・英知・生命力」 73P~86P

要旨

◎苦しい体験は年をとってから生きてくる。

◎われわれは目に見える物と見えない物との両方に同時に気付くように自分を訓練する必要があります。

◎四次元世界⇒⇒⇒⇒⇒⇒目に見えない三次元世界の奥にある世界

（宇宙の創造主の世界） 深遠なる設計図の世界⇒アイデア

◎生命エネルギー・英知というものを自覚して、その中にあるものを心眼・心耳での感覚を起こす自己訓練を行なう。

◎楽しさというものを単なる人体の行動でなしに内部の生命エネルギーの延長と考える。

◎四次元世界は人間の想念によって形成される世界でもある。人間の悪い想念も具体化され三次元世界に現れる。

◎目・耳・鼻・口の四つの感覚器官は独自の解釈をしている。感覚器官の心は原因の結果である三次元世界で働いている。

◎自分のマインドをいったん消してしまい、創造主の世界に入ってしまう。

◎天の父の国⇒⇒四次元世界

◎物質の奥に潜んでいる宇宙の生命エネルギー、英知と一体となっているんだというフィーリングを起こさないと宇宙的に向上しない。

◎四次元における意識は、印象という形で与えられる。⇒⇒⇒⇒⇒インスピレーション

◎意識は生命を可能ならしめる万物の魂。

◎地求人は盲目で生きているが、しかし、私たちも生命の科学を実践すれば予知能力を身につけることができる。ただし、絶えず練習を続けなければならない。

◎心が意識のほうに耳を傾けるように訓練し、意識というメッセンジャーから教わるようにしなければなりません。

◎わたしたち人間の宇宙的能力の発達、自分が内部の根源的なものにどこまで気が付いて一体化しようとしているかによって決まる。

◎数学的に関数関係にある人間の発達の度合い。人間の発達の度合いをX 宇宙の意識に気が付こうという度合いをY $Y = f(X)$

◎自分を救うものは自分⇒⇒⇒⇒天は自ら助くる者を助く

◎人によい影響を与える人をスペース・ピープルは特に援助してその影響の輪を広げさせようとしている。

◎運を天に任せる・・・任天堂

(自分は何もしないでボーッとしている意味ではない)

◎自分を卑しめるより、早く過失に気付いてそれを訂正することです。

◎心だけで生きているのであればジャングルの中に入り込んだと同じ。

◎異星人の心は宇宙の意識に従っている。

質問

◆苦しい体験は年をとってから生きてくるとはどんなことか考えてみましょう。

◆あなたは目に見える物と見えない物との両方に同時に気付くように自分を訓練していると
思いますが、どのような心がけを持って行なっていますか。(73P)

◆心は印象を混乱させ、印象を個人的な欲望に適合させるために誤用する傾向があります。
あなたが受けた印象を誤用した例、または混乱した例を思い出して下さい。(80P)

◆「他人からしてもらいたいと思うことを他人にもせよ」この言葉からあなたは何を思いま
すか。(81P)

レクチャー6

93・2・21

「新鮮な想念で人体は若返る」

89P～94P

要旨

◎恐怖心を与える予言は絶対に起こらない。明るい気持ちで来る21世紀を迎えるための準備として宇宙的な哲学を研究し実践すると良い。

◎肉体は心とは独立して必然的に動いてる部分があるが一方では心に従属している部分がある。

◎心は習慣を守り怠惰になる傾向があります。

◎新鮮さは進歩であるばかりでなく若さでもあります。

◎人間の想念は肉体ばかりでなく草花にも影響を及ぼす。

◎想念による原形→→→→→アイデア

◎喜怒哀楽は地球人の感情である。他の惑星では喜びしかない。

◎肉体が若さを保とうとすれば、特に宇宙的な線に沿った新鮮な想念が重要。

◎地球人は、病気が起こることは当前と思っている。あるいは地球の劣悪な環境によって病気が起こる。

◎若さを保つということと子供っぽいということは別問題。年齢相応の大人としての態度を保つ必要がある。

◎「人間は自分の考えたとうりのものになる」

◎新鮮な想念を保ち続ける決意こそは望ましい結果を達成させる。

◎人間の実態は肉体細胞ではなくそれを整然と生かして統一している基本的なもの、生命エネルギーと英知、宇宙の意識といったものである。まずこれに自分のマインドを従うようにする。

◎宇宙の意識との一体化とは、意識は完璧な原形であるから、自分は完璧なのだという想念を保ち続けること。自分の能力も無限に隠されている。自分に不可能はないという想念。無限の力に自分は満ちているんだという想念を保ち続けること。

◎真、善、美に人間はだれしも憧れを持つ。この3のどれかに属することを内部から行なえという印象が起こったら、それは宇宙の意識からの指導だから行なえばよい。

◎善とは他人に対する愛、親切。

◎思い立ったらその日その瞬間から自分を変えていく。

質問

◆古臭い主義の元に生きることを満足せず、常に何か新鮮なものを捜し求めているごく小数の人々がこの世にいることにわれわれは感謝して良いでしょう。あなたが思うこれに属する人の名前を上げて下さい。(87P)

◆肉体が若さを保とうとすれば特に宇宙的な線に沿った新鮮な想念が重要です。この新鮮な想念とはどんなものでしょうか。(89P)

◆人間の心がエゴの変わりに宇宙の計画のために働くならば、いかなる不快な結果をも決して知ることはありません。不快な結果を知らないとはどんなことでしょうか考えてみましょう。(92P)

レクチャー 6

93・3・21

「新鮮な想念で人体は若返る」 2

94P~100P

要旨

◎スペースブラザーズに出会う人はテレパシクな敏感な人。敏感になることが重要で、敏感になるほど生活が滑らかにスムーズに行くことにもなる。

◎宇宙的な能力を身につけて、また精神的にも非常に発達した人間になろうと私たちはこのテキストで勉強しているわけです。これを実践し生かすこと。

◎心は四感によって形成される。特に目が強い。

◎喜・怒・哀・楽というものが地球人として当前だと思われていることがいけない。喜ぶこと、楽しむことでわれわれは宇宙的方向へ行く。

◎心は四感によって揺れ動いている。心は静めて、楽しい感情を持ち続ける。これがテレパシー能力を開発する最大の要素。

◎宇宙の意識=宇宙の創造主=宇宙全体にみなぎる生命エネルギーと英知

◎宇宙の意識は人間の体に充満している。宇宙全体は意識体である。

◎放蕩息子の物語⇒⇒⇒ルカ伝15章

◎人間が一旦墮落しても、それを思い直して真面目にやろうと立ち返るならば、いつでも創造主は力を貸してくれる。

◎宇宙の意識は万人に対して全く平等に生命を与え、英知を与えてそれを生かそうとしている。

◎絶大な決意と不動の信念が重要。信念の力、希望の力、絶対にあきらめない力。人は生き方を変えない限り救われるものではない。

◎創造主の意志のままに生きる――→無条件の他人との調和、愛。無条件の親切さ奉仕精神
神そういったことを主体にした生き方。

◎あらゆる生命体や、固体を作り上げてあらゆる細胞の中に表われている「神」を見るように自分の心を仕向けなさい。

◎細胞=原子、素粒子⇒⇒⇒原子核の中にSpark=活気



◎原子こそが宇宙の創造主の生命（気）がこもっている。
◎私たちは創造主の真っ只中に生きている。私たち自身が神。

◎悪質な人の性質は、その人の心が勝手に騒いでいるだけであり、内部の宇宙の意識がしているのではない。

◎われわれは他人に対して正直で誠実であり得る前に、自己の「よき自我」（宇宙の意識）に正直で誠実であらねばなりません。

◎よい結果をもたらそうとするのなら、強くなり、断固たる決意を持たねばなりません。

質問

◆あなたのテレパシクな体験または敏感になったことで、生活が滑らかにスムーズにいった身近かな例を述べて下さい。

◆自我のプライド（自尊心）を死滅させて、謙虚さと意識の意志の中に生まれ変りなさい！
放蕩息子の物語で象徴的に紹介されています意識の意志の中に生きるとはどんなことか考えてみましょう。（97P）

レクチャー7「宇宙的記憶」

93・4・18
101P～114P

要旨

◎脳細胞にインプットされた記憶は、肉体が死んで焼かれると、自分が一生涯で得たマインドによって培った記憶はすべて失われる。しかし、脳細胞を更に生かしていた宇宙の意識という実態は記憶を運ぶ。

◎宇宙の記憶はフロッピーの記憶

◎記憶は2種類ある。心による生活の続行に対して基本的なものと前世における体験

◎心は過去に得た重要な価値ある物事を記憶することを全然学んでない。――→フロッピーへインプットすることを学んでいない。

◎宇宙的記憶は脳細胞その他全身の細胞を生かしている実体

◎生命エネルギーと英知が本当の記憶を保つ。

◎無数の体験の記憶はすべて宇宙の意識の中にインプットされる

◎金星なりもっと進化した惑星に生まれ変わると過去の記憶をアウトプットする。

◎肉体を持ったまま地球から金星に移住している地球人がかなりいる。また、転生している地球人もかなりいる。

◎宇宙の意識と心が同調してしまうと、過去生でどういう人間かが分かる。

◎宇宙の意識＝＝＝万物を造りあげた創造主

◎万物は原子でできている。原子の一つ一つに原子核がある。原子核そのものが創造主の生命波動そのものだと見ればよい。

◎あらゆる人は創造主の現われ、みんな平等でしかも光り輝いている。他人に対する分け隔て好き嫌いがなくなる。

◎自分のフィーリングを高めるのは難しい。でも、難しいことをしなければ価値はない。人を憎んだり愛したりすることはだれでも簡単にできる。この簡単なことで生涯を終わらせた人間は進歩しない。

◎盲信というべき程の強烈な信念。

◎転生というものの思想を持たないと人間は救われるものではない。

◎知覚力＝⇒⇒テレパシー

◎宇宙の意識との一体化は知覚力を飛躍的に高める。

◎捜し物をするとき知覚力を利用する。心を静めて内部の意識からの印象を待つ。あるいは電話が掛かってきたときに、ちょっと待って直感的に見る。

◎宇宙の意識と一体化する方法⇒⇒⇒「私は宇宙の意識と一体である」の反復思念。エゴのマインドで行なうのではない。自分が宇宙全体と一緒に成って行なう。

◎創造主に手紙を書く。ポストは自分の体の中にある。――→精神的高揚

◎フィーリングを高めると別の惑星の方々が容易い接近出来るような土台を成ることになる
同じレベルの波動が同調しあう。

◎イメージによってよい努力の仕方が得られる。

質問

◆宇宙的な記憶を持とうとするならば『意識で成ること』すなわち心が意識と協力することの重要性に気付かねばなりません。さて、『意識で成ること』とはどんなことか考えてみましょう。

◆あなたは花に向かって呼び掛けて応答を受けたことはありますか？ また、動物、物質に対して呼び掛けたことはありますか？

◆自分のフィーリングを高めるのは難しい。でも難しいことをしなければ価値はないということですが、フィーリングを高めるためにどのようなことを行なっていますか。また、フィーリングが高まった実際の体験はどんなことでしたか。

レクチャー 7 「宇宙的記憶」 2 $\frac{9}{1} \frac{3}{1} \cdot \frac{5}{4} \cdot \frac{1}{2} \frac{6}{2} P \sim 1 \frac{1}{2} \frac{2}{2} P$

要旨

- ◎長生きするには精神的なものが重要
- ◎地球人は恐怖心の固まり。恐怖心が恐怖すべきものを引き寄せる。
- ◎地球人も精神の状態を宇宙的に保って、科学的な考えで体をコントロールすれば、八百才位まで生きる。
- ◎古い習慣というものは、あなたがそれをよき習慣の中に吸収してしまうまではあなたの行く手につきまとう。
- ◎自分を変化させるのはあくまでも自分。それだけの努力が必要。
- ◎万物が宇宙の生命エネルギーと英知を現わしたそのものであることを常に自分の心で気付いていることを生活の一部にする。
- ◎ある一つの英知の根源成るものがあって大宇宙を作ったと考えないと安心して心を静めることができない。
- ◎大宇宙に病気は絶対ない。あると思った想念の影として病気が表われる。老化は心の概念。
- ◎宇宙の意識＝＝＝宇宙全体を有機体と考える。創造主そのもの
- ◎宇宙の意識は永遠の過去から永遠の未来を支えている。時間はない。
- ◎宇宙の意識と一体化されれば老化はしない。時間の概念がなくなる。
- ◎内部の若さを引き出す。そして、健康体になるというのはあくまでも自分自身で努力してその力を引き出す。
- ◎超能力者に頼って、そのパワーをもらって、そして自分がそのパワーを身に付けて何かやろうとよその超能力者にやたら頼ろうというような、そういう考え方をすると自分自身が伸びない。
- ◎U F O 観測は単なる好奇心ではダメ。実際は自分と宇宙空間を飛んでいる別な惑星の人々とは一体である。分離はない。自分が一体感を起こしてその波動を放っているからそれが正しいんだということを証明するために出て頂けませんかという想念を放つ。
- ◎アダムスキーは自分と母船が一体化するようなフィーリングを起こした。
- ◎自分がものと一体化してそれに想念を吹込めば、故障したものが直ったりする。

- ◎宇宙的映画はスペース・ピープルが時々援助する。(十戒)
- ◎万物と一体であることを知る方法——→相手の立場に立つ
- ◎他人との一体感を極端に高めればテレパシー能力が出てくる。

質問

◆あなたがどこに行こうとも何を見ようとも行なおうとも、あなたの心が万物の背後にある宇宙の生命と英知にいつも気付いているかどうかを確かめるようにしなさい。(114P)
あなたが宇宙の生命と英知に気付いてる場面を思い出して下さい。

◆心というものは究めて利己的で、消化しうる以上に食べようとし、そうすることによってそれはあらゆる方向に散ってしまう。(116P)
このことは本来の目的に対して心自体の目的であるように思われますが、あなたが心をコントロールして本来の目的で達成したことを考えてみて下さい。

◆私が巨大な母船に入ったとき、私の心は各装置にひかれてしまいました。しかし、私はその旅行の本来の目的に添うように、自身を意識的な知覚体にするために、この関心を静める必要がありました。(119P)
関心を静めるとはどんなことを考えてみましょう。

レクチャー8 「宇宙の一体性」

93・6・20
122P~129P

要旨

◎今後、来世紀に入ってから、地球は本当のフリーエネルギーの開発と、それによって本当の意味の宇宙船を開発するでしょう。更に別な惑星の偉大な文明を発見して、よい意味において大変なことになるでしょう。

◎テレパシクな直感力が非常に重要。来世紀の地球人そういう方向に行くでしょう。今の地球人はマインドに振り回されている。――→マインド世界から意識世界へ

◎スペース・ピープルは地球人が何かを自分の意思によって体験しようとする場合、それに干渉しない。

◎アメリカが原爆を落とすという体験、われわれは原爆によって悲惨な目にあうという体験によって両方の国がもっと進んだことを学んだ。

◎人間が自分で本当のことを学ぶのは体験によって学ぶ。

◎創造主というのは人間の姿をしたものじゃなくて、生命エネルギーの根源成るもの。超絶的英知。創造主自体は全宇宙空間に充満したものである。

◎定常宇宙説⇐⇐⇐⇒永遠に無限でそのまま存在している

◎無限というものはわれわれの3次元空間という概念がきれいに崩れる。X、Y、Z軸3次元とは一つの限界に囲まれた空間を言う。

◎古代プラトン、アリストテレス、近世カント、ヘーゲルらは皆創造主の概念を持った。創造主とは宇宙そのものを考える概念。

◎われわれはすべて意識ある実態なのであって、意識という静かな小さな声は、心ががなりたてて支持するよりももっとよい方法があると自分にささやき続けます。

◎宇宙全体は意識体。それはだれの内部にも充満している。

◎内部に宿る宇宙の意識は絶対的。過去生、世の中のことなど本当のことを教えてくれる。それは印象で与えられる。

◎自分に分からないことがあればジーンと心を澄まして内部からわき起こる印象を待つ。



瞑想型人間

◎心は四管（目、耳、鼻、口）それぞれの細胞群が勝手な解釈をしておたがいに争っている



心の迷い

◎四つの感覚器官をコントロールして内部からの印象に従う。この印象をインスピレーションという。

◎瞑想型の人間となってインスピレーションを感じる人間になる。これが宇宙的な人間。

◎大きな変動が起こるとすれば経済変動だろう。地球がこっぴみじんになる変動はない。

◎占い師のすべてがダメというわけではない。一種の超能力を持った占い師は素晴らしい未来予知をすることがある。

◎超能力――→テレパシー、遠隔透視、未来予知、過去生透視、オーラ透視

◎人から与えられたパワーはいずれ消える。本当は自分自身の内部から自分の力で引き出すもの。

質問

◆われわれが創造主の完全な表現者たらんとするならば、これまで以上に自然を研究しなければなりません。自然は神の意識的な表現であるからです。そして二人の人間が互いに似てくると同様に、自然の一体性の法則を観察して、それを応用する必要があります。（124 P）

あなたが自然から学んだことを考えて下さい。また、地球人は自然から何を学ぼうとしているのでしょうか。

◆「意識という静かな小さな声」（125 P）はどのようなものか考えましょう。

レクチャー 8 「宇宙の一体性」 $\frac{93 \cdot 7 \cdot 18}{130P \sim 134P}$

要旨

◎怒涛のパワー——→せっぱ詰まってどうしようもなくなったとき、自分で自分を叱りつけて、パワーを発揮する。

◎人間というものは自分の想念によって、想念が一種の鋳型になってどうにでもなる。怒涛のパワーというものは自分で起こすものであって、人から与えられるものではない。

◎自分の内部にある本当の真実なものに気が付いて、それを土台にしていけば絶対に大丈夫だとアダムスキーは言っている。ここが宗教との違い。

◎トンツーのモールス符号、脈動現象は体の細胞が活気づいたために起こる。

◎清富⇐⇐⇐⇒われわれは心が豊かになると同時に生活も豊かにならなくては行けない。
↓

衣食足りて礼節を知る

◎意識こそ万物の背後にある「宇宙の英知」

◎Consciousness = 宇宙の魂 = 生命エネルギー波動 = 創造主の英知の波動 = 調和波動

◎アダムスキーは創造主を腹のそこから認識して土台にしていくことを言っている。

◎創造主は遠くにあるのではない。頭の髪の毛のてっぺんから足の爪先まで創造主の英知波動、調和波動は充満している。

◎創造主の英知は原子核の中にある。

◎創造主を徹底的に把握すること。

◎「岩の上に教会を建てる」——→岩（創造主）・教会（肉体）

質問

◆宇宙的真自我にたいして心が関心を持つならば、それは細胞に行動すべき好機を与えるのです。そして細胞群が行動を始めるにつれて、あなたは「感じ」の相違や、過去に持ったことのない意識的な警戒状態に気付くでしょう。（130P）

ここでは神秘現象の原因について述べていますが、あなたが持った神秘体験をこれをふまえて考えて下さい。

◆「自分自身を知れ、そうすればすべてがわかるだろう」（131P）

この言葉の意味を考えてみましょう。

◆あなたが怒涛のパワーを発揮したのはどんなときでしたか。

レクチャー 9 「宇宙的細胞と

93・8・8
135P~140P

肉体細胞の活動」

要旨

- ◎来世紀には、惑星探査機によってものすごい発見が成され、アダムスキー問題の真実が分かってくる。(2010年ー2015年頃)
- ◎生命の科学の中で、第一課と第九課がもっとも重要。
- ◎宇宙空間は生きた細胞の集合体。まだ地球人が発見していない、なにか生き物としての微小物体が宇宙空間にある。
- ◎人間の細胞は60兆個。それぞれが目的を持つ。
- ◎人体が形成される一番のもとが細胞。
- ◎宇宙の英知、宇宙の意識が作用して受精がある。
- ◎細胞というのは知識を交換しあう生き物。
- ◎宇宙的な各細胞群はそれぞれ周囲に、より小さな分子群を従えた一個の送受信局を持っています。
- ◎ガン細胞は人間の心が作り上げた悪魔細胞。
- ◎霊が語るように思われるのは各細胞が独立した実体であるからです。
- ◎霊界とか死者の霊のことばかり考えていると活気がなくなる。死んだ後のことばかり考えるから。
- ◎自分の思想の持ち方は非常に重要。人間が肉体を与えられているのは私たちが生きている間にいろんな体験を積み、学習をするために生きているのですから、生きている間に死んだ後のことばかり考えるのは不合理。
- ◎宇宙的な秩序ある組織体の中では恐怖は存在しません。恐怖は外来細胞(歪んだ心によって作り上げたもの)から来るのです。
- ◎細胞一個一個が心を持つ。
- ◎清く、正しく、美しく、そういう精神を持とうとすれば細胞も変わってくる。

◎高級霊なるものは、霊的な指導者を求めてやまない心によって創造された外来細胞にはなりません。

◎宇宙に嫉妬心、憎悪心はない。

◎人間の精神の発達是他の人間から影響を受けて発達する。

◎時々あなたは高い発達を遂げた人と接触することが必要です。環境が人間の発達に大きな影響を及ぼすからです。

◎環境の中でもっとも重要なのは人間的環境。

◎同質結集の法則——→類を持って集まる

質問

◆普通の細胞は本人に正しい知識を伝えますが、異常な細胞は過去の経験に基づいて誤った知識を与えます。両方とも増殖によって生きています。これは生き残りの法則であって、そのため異常な細胞は仲間をふやそうと努力し、いかなる干渉にも立腹しますが、正常な細胞は立腹したり干渉に対して抵抗したりしません。（139P）

ここでは普通の細胞と異常な細胞の性質の違いを述べていますが、あなたの中のこの二つの性質を分析して下さい。

レクチャー 9 「宇宙的細胞と

93・9・19
140P~148P

肉体細胞の活動」 2

要旨

◎自然の大変動、北海道南西沖地震の1か月前に、奥尻島の北で、ねずみ、蛇が大量に出現した。ねずみたちが大地の波動を感じて騒ぎだしたに違いない。

◎中国では地震に伴う動物の予知現象の研究がかなり進んでる。



宏観現象

◎アダムスキー哲学は徹底して人間の波動、想念波動、大地から発する波動、万物から発する波動、それを自分がいかにキャッチするかその方法を述べている。

◎細胞は60兆ある。各細胞たちは波動を発する。

◎Impression (印象) = Frequency (波動)

◎「もっと知らなければならぬものがありますよ！」と肉体に人間にささやくのは、その半身である宇宙的な部分。

◎知恵というものの始まり――→体験するに越したことはないが、はたから観察することによって、自分の知恵になる。

◎高い建物のうえにおりさえすれば、眼下で行なわれるすべてに物事を観察できる。本人は混乱状態を見るけれども、それに影響されないし、その中に巻き込まれることもない。

◎無我の境地――→時分自身に対する関心を持ってますと、外部からの波動をキャッチすることは出来ません。だから心をずーっと静めて、心をからっぽにするのがいい。しかし、トランス状態になってもいけない。心を静めた、ものを考えない状態。バケツに水を入れた場合、一旦水を捨ててからっぽにするのと同じ。

◎神といいますと、宗教的に聞こえる。アダムスキーは神に相当するG O Tをほとんど使っていない。Cosmic consciousness (宇宙の意識) を次のように言っています。Supreme intelligence (至上なる英知)

◎地球の次元の低い波動から脱出して、暗黒の空間を飛んでいけば、マインドが静まってきて、外部からの波動を感じる。

◎宇宙飛行士は月の裏側でもものすごい光景を見ている。別な惑星の異星人たちが壮大な建物を造り、そこにたくさんの母船や円盤が並んでいるのを見ている。

◎人間にとって唯一必要なことは、現在人間が発している想念を直視して、それが宇宙の原理といかに異なっているか調べることです。

◎見て読んで抽象的概念を起こすだけではダメで、実践を行なうこと。

◎われわれは宇宙の意識と一体化するならば、必要な知識に対して制限はなくなる。これは必要な本や人に出会うことを意味する。

◎よいことになるという信念を持つ……Faith…… 強烈な自信

◎嫌な人間の中に宿っている宇宙細胞、宇宙の意識は善悪という二極対立を超越した絶対善です。どんな人間も本当は善人だからよくなってくる。そういう想念を相手に浴びせかけるそうすると相手は変わる。相手が変わらなければ、あなた自信がよいところに引っ張られて行く。波動の引き合いがある。

質問

◆「高い建物のうえにおりさえすれば、眼下で行なわれるすべての物事を観察できる。本人は混乱状態を見るけれども、それに影響されないし、その中に巻き込まれることもない」

(143P)

あなたのこのような経験を思い出してみましょう。

◆心が宇宙的に気付くようになる唯一のときは、自分自身に対する関心を捨てるときです。

(143P)

自分自身に対する関心を捨てるとはどんなことか考えてみましょう。

レクチャー 10 「意識による旅行」 $\frac{93}{149}P \sim \frac{10}{162}P$

要旨

◎意識による旅行 \Longleftrightarrow 遠隔透視

◎アダムスキーが言う遠隔透視は、現実に関目覚めた状態で、しかも目を開けた状態で遠方の光景が突然見えてくる。(あるいは目をつぶって)

◎遠隔透視は自動車の運転と同じで、練習によって出てくる。

内部に眠っていた力が出てくる \longrightarrow 順化作用

◎あなたが持っている唯一の権利は、創造主すなわち神の似姿であるあなたの半身を認めることと、それとともに活動することにあります。

◎創造主の生命エネルギー+英知+(愛)調和 $\equiv \equiv \equiv$ 宇宙の意識

◎60兆の細胞を作り上げている細胞群。全身が宇宙の創造主の生命エネルギーや英知の固まり。だから自分には無限の力が出てくる。

◎人間が放つ行動、想波動念、これらすべてはアカシックレコードに記録される。

Akasic record \longrightarrow 宇宙への記録

◎われわれは遠い過去生を思い出すことができる。すべて宇宙に記録されている光景を透視することができる。

◎われわれは寸刻足りともいい加減な考え、よこしまな考えを起こしてはならない。常に清く正しく美しく。

◎自分だけ(マインド)は楽をしようとする。そして環境にはめられてしまい、自分だけがなんで楽ができないのかと悲観的に考えて、人を見れば良さそうに見える。そのため他人と自分の違いがハッキリ感じられるようになって、他人を別人と感じる。

◎あらゆる人間は兄弟で一体

◎人間は望遠鏡の力を借りないで遠方を見ることができる・・・内部の意識(意識眼)

◎意識眼 \Longleftrightarrow 心眼

◎心と対になっている意識こそが宇宙全体に関して人間が知るための唯一の道具です。

◎遠方から来る波動を自分でキャッチして、その印象を受信することも重要 \longrightarrow UFO観測

◎自律訓練法・・・心をリラックスさせること。雑念は自然に何も考えない。心をからっぽにして入ってくる印象を待ち受ける。目を閉じる。両手を見つめる練習。５分～１０分

◎転生の法則、カルマの法則を知れば神も仏もあることが分かる。死は一軒の家から別な一軒へ移り住むこと。

質問

◆イエスは言っています。「見なくても信ずるものは幸いである」と。肉眼は宇宙空間の遠方を見ることは出来ませんが、『意識眼』はそれができるのです。（１５５Ｐ）

あなたが『意識眼』で見た映像を思いだして下さい。また、これからはどのように『意識眼』を応用しますか？

◆あなたが行なっている自律訓練法を教えて下さい。

レクチャー 1 1 「宇宙空間の探検」 $\frac{93}{163} \cdot \frac{11}{P} \sim \frac{21}{169} P$

要旨

◎宇宙空間の探検⇒⇒⇒⇒自分の意識で遠方を透視すること

◎宇宙の意識——→人間の実体（人間の体を生かす根源的なパワー）

◎生命というのは抽象的なパワー⇒⇒⇒⇒生命なるものを物質的に解明できない。我々がこうして生きているからには、生命のパワーが充満していることは間違いない。それを認め意識しよう。その生命エネルギーは宇宙の意識であり神である。

◎科学によって有人宇宙船を作り、別な惑星に直接行かなければ地球人は目覚めない

◎宇宙の広大さは我々の想像を絶しています。その中で我々は生きている。そして、宇宙に育まれ守られている。

◎肉眼を通して、内部にあるものすごい意識で外部を見る力を発揮すると良い。

◎地球と同じような惑星は宇宙空間には無数にあって、そして、我々地球人と同じような人間ばかりだ。

◎地球という狭いからの中だけでしがみついて、自分の人生だけを考えて、足下ばかり見詰めて生きているのは、狭い小さな考えであることが言える。

◎内部の意識が、遠方の波動をキャッチして、その映像を心に伝える。

◎別な惑星の人々はものすごいテレパシー能力を持つ。完全にこちらの心は見透かされている。スペース・ピープルは人を嫌わない。しかし、地球人には心の発達段階が低い人がいます。危険な人もいるわけです。そこで危険な人には近寄らない。正体は絶対に現わさない。

◎あらゆる人が嫉妬、非難をしないようなところに入りますと、地球人はかえって面白くないんです。おたがいに喧嘩をやってこそ面白いんであって、そういうような雰囲気になれている。

◎地球にいていろいろなトラブルを起こして、そして、人と争ったりするうちに、だんだん自分が悟ってきて人間が練れてくる。

◎共有財産制⇒⇒⇒⇒原始共産制であり、所有欲の観念がない。

◎「他人は必要なのである」

◎「人間の意識が存在するところに本人もいるのだ」……意識は空間を飛んで行って、どんな遠方までも意識の波動は行く。

◎金星は愛の惑星。金星から転生したイエスは愛の法則を説いた。

◎金星の絵は立体画が多い。写實的。

◎葛飾区・浅草方面にスペース・ピープルが結集して活動をしている。

◎生命の科学を書いたのは、アダムスキーが亡くなる前の年。その間にアダムスキーが火星に行ったという情報はない。

◎我々は夢をしないで現実の足元をしっかり見て、今の生き方、それから、未来に対する生き方を確立させて、信念の力、希望の力、絶対にあきらめない力でされると宜しいでしょう。テレパシー能力が出て、スペース・ピープルと話をされるかもしれません。今生あえなくとも、宇宙的な生き方をしていると、来世には必ずよい惑星に転生することができます。

◎地球人は、不安、恐怖、イライラ、こういうものに絶えずさいなまれている訳です。絶対的な安心感を持った人はそういない。地球人は自分の内部に絶対的なものを持っていない。

質問

◆あなたが抱く土星、金星、火星のイメージを自由に語って下さい。

◆スペース・ピープルは人を嫌わない。人を嫌わないとはどういうことかを考えてみましょう。

レクチャー 1 1 「宇宙空間の探検」②

170P~192P
93.12.19

要旨

- ◎自分のマインドを意識と一体化させて、そうして意識とともに生きるような、そういうフィーリングを起こしておりますと、遠隔透視の能力が次第におこてくる。
- ◎内部の意識というのが本当の実態であって、これは万能であって、そうしてしかも肉体を80年~90年生きさせる原動力でもあります。心臓を動かしているパワーの源泉でもある。
- ◎幽霊==⇒想念波動というものを感受しやすい人が、それを受け自分の体のなかで映像化させている。本人がテレビ受像器になったのと同じ。
- ◎影が肉体の現われであるように、人間は意識の想念的な現われです。
(意識というものの想念的な現われが想念体。肉体はその影。肉体は心の影。)
- ◎アダムスキーはコンタクト以前には、病気を治すことを主体にやっていた。
- ◎同じ超能力でも苦しんでいる人を治すというのが、これが一番良い。
- ◎トランス状態——⇒一種の失神状態。恍惚状態。自分自身を忘れてしまうようなボーッとした状態。眠ってしまうでもなく、自分自身が分からなくなる。
- ◎自分の想念によって自分の健康状態がどうにでも成り、あるいは顔付きまでが変わってくる。
- ◎自分は無限の生命で生かされている。そういう前向きの想念。
- ◎霊界から靈魂が取り付いてものを言わせているのではなく、本人自身の内部の細胞から来る印象または作用によってトランス状態になる。
- ◎心のトランスは目を開けていても自分の内部にある意識と一体化していれば、自分が我を忘れた状態にならない。心と意識が一体と成って働く。
- ◎意識は根源的なもの。宇宙の意識は宇宙全体を支えている創造主。それをわれわれはハッキリと認識して、自分の60兆の細胞を固めて支えているのが宇宙の意識であると知るならものすごい存在物である。
- ◎動物も宇宙の意識に支えられ生かされている。だから彼等も想念感情がある。
News Week 11月10日号 「動物にも意識がある」
- ◎レクチャー12「たえまなき進歩の報い」は今までの要約

◎意識から来る印象を聞き取ろう聞き取ろうというクセを付けると、次第にただし印象が聞けるように成ってくる。心を澄まして静かな状態にしているほうがよい。

◎心を若返らせる。そうすると心の状態は必ず肉体に影響を与えますから、自分はいつまでも若いんだと思っていれば、心の状態が体に現われてきます。

◎過去生の記憶を思い出すと有益なことがある。ところが地球人は過去生の記憶を思い出す力がない。ないからこそ転生というものが信じられなくて、人間の生涯は一回きりだと思っている。

◎時には自分の過去生を思い出して、いつごろどの国でどういう状態、人間だったか思い出すと良い。

◎みんなが一体だから、人を傷付けることはあらゆる人を傷付けることと同じことになる。

◎60兆の細胞は健全な細胞もあるが、中には習慣想念に染まってしまってどうしようもないようなことを唆す細胞もあります。

◎人間の心が存在するところには本人もいる。意識はどこへでも行くからそれによって空間のどこへでも探検して、つまり見てくることができる。遠隔透視

◎信念の力、希望の力、絶対にあきらめない力。

◎「どんなアイデアが浮かぼうと、それは必ず実現する！」と考える自分自身に対して絶対的な確信を持つ必要がある。

◎地球人の心は疑惑だらけ。地球人は疑惑を起こす動物。そういう週間的な想念を克服して絶対的な信念を持つのは難しいですが、しかし、これは絶対的な信念を持つ練習、そういうことを習慣づけてくれば、段々高まってきます。必ず！！

◎意識的な青写真（設計図）⇒⇒⇒⇒心に描くイメージ

◎神のような生き方

◎別な惑星の方々は宇宙の創造主というものを根本的な生きるための土台にしておられるようですから、われわれもそのようにしないとどうもダメなようです。

◎スペース・ピープルは創造主というものをハッキリ認識して、そうしてそれを中心とした生き方をする地球人を非常に高く評価するとか、そのほうが近付きやすいんでしょう。波動が同じに成ってくるから。

◆「生命の科学」講座を一年間続けての感想とあなたの今年を振り返って下さい。